

ジュニアは巣立って 今は中高年

平成27年5月18日(月)若宮クラブへおじゃましました。
若宮小学校は都立家政駅と鷺宮駅との間に位置し住宅街の中にあります。
若宮クラブはオリーブ館運営委員会を設立し、自主運営組織となり平成5年に始まりました。
この時パドルテニスの講習会を実施し、PTAの親御さんや子供達に教えておりました。

代表は今年傘寿を迎えられた荻野隆さん、
12年前亀石会長からの「頼みますよ」の一言で後藤さんから代表を引き継がれました。
定年退職をしてからのパドルテニスとのお付き合いです。

「10年前は、ジュニアが沢山いましたが中学校へと進学する中で段々減って今は、
残念ながらという事になっております」と荻野さん。どこのクラブも同じ様な悩みは
ありますね。会員は中野区の健康推進事業の一環でパドルテニスを始めた人達、テニス
クラブの閉鎖で転向された人達10人前後で活動しております。

そんな中で、一番古い16年前、関東大会Cクラス優勝の松尾さん「子供の付き添いで
始めたパドルで細々とやっていたが、子供が大学生になり子育てが一段落し最近
練習の機会も増えました」との事。成る程、この頃試合でいくつもよい成績を残して
いらっしゃいますね。

「若宮クラブは野方クラブとの交流が盛んで一緒にプレーをしたり、忘年会を開いたりし
ています。私は身体の痛み相談しながらプレーしていますよ」と。この日ビジターで参加
の中村さんがにこやかに話してくれました。

本当に人生を楽しんでいる若宮クラブでした。

